様々な困難を抱える女性の再就職事業【岐阜市】

総事業費 交付金額

173 千円

371 壬円

地域の実情と課題

本市の生産年齢人口は、2020年度から2040年度までの 20年間で、約5万人の減少が見込まれ、慢性的な 労働力不足が想定される。 こうした中、子育て中の働いていない母親の約8割が

こっした中、子育て中の働いていない母親の約8割か 就労意向を持っているとされ、様々な働きづらさを抱え、 働けていない状況の女性が存在していると考えられる。

目的•目標

働く意思があっても、様々な困難を抱える女性の再就職を支援する。

【事業目標】

セミナー等実施回数 5回 (実績5回)

【事業KPI】

セミナー受講後に就職活動に取り組んだ人数 10人(実績23人)

事業の特徴

- ・全5回のセミナーの最終回に、実際に再就職を経験した女性 のパネルディスカッションを開催し、実体験に基づく話を聞くこと により、再就職への不安解消を図った。
- ・セミナー参加者のお子さんを対象としたの託児を実施し、 参加しやすい環境を整えた。

連携団体

- ・参加者の募集にあたり、市内NPO法人から、チラシの設置や相談者への周知にかかる協力を得た。 ・市内NPO法人に託児を依頼し、子育て中の女性が参加しやすい環境
- を整えた。
 ・岐阜県と連携し、県立図書館や、ぎふ清流文化プラザなどにチラシを
- 設置し、広報を行った。
 ・岐阜市女性センターと連携し、女性センターからは相談者に本事業の周知を、本事業参加者には女性センターの相談事業を案内した。

事業の効果

事業終了後のアンケート等で「再就職に向けた意欲が高まったか」という質問に88%(延べ44人)が「高まった又はやや高まった」と回答を得た。

国合を特に。 また、「セミナー終了後に就職活動を行ったか」という質問に96% (23人)が「行った」旨の回答を、「内定を受けたか」という質問に21% (5人)が「内定を受けた」との回答を得た。

事業の目的でもある再就職への不安を解消し、就職活動や内定 に繋げることができたと考えられる。

今後の課題

アンケートで「女性の再就職に重要だと思うこと」について質問したところ、「再就職に向けたスキルアップセミナー」「家事・育児との両立を可能とする職場環境の整備」という回答が多数あった。

今後は、本事業の「不安を取り除く」という目的から一歩踏み込んで「スキルアップ」にかかる支援を行う必要性や、企業が多様な働き方を取り入れるための企業へのアプローチの必要性があると考えている。

事業の概要

◆事業の概要

- ○再就職への不安解消セミナーの開催
- ア 再就職スタート準備
- イ 再就職した女性のパネルディスカッション
- ウ 講師(キャリアコンサルタント)との個別相談
- 〇参加者
 - 28人(延べ50人)





実施回	開催日	テーマ	講師	内容	参加者
第1回	11月17日(木)	・再び働くことへの動機づけ ・自分を知る ・再就職に前向きになる	中川 久枝 (キャリアコンサルタント)	チェックシート等を活用し、キャリアプランニングやwell-beingについて学び、自身が働くことの意味・価値や働くイメージができるようにする。	5人
第2回	12月1日(木)	自分の強みを知り、自信を持つ自分がどこで働くかイメージする	三ツロ 和美 (キャリアコンサルタント)	Jobカードを活用し、過去のキャリアの棚卸を行い、自分の強みの発見や、自分がやりたい仕事のイメージをしてもらう。	3人
第3回	12月15日(木)	・社会で働くため最低限必要なスキルをおさらい ・再就職に向けた不安を拭う		ビジネスマナーや対人コミュニケーション構築に 関する講座やワークで、仕事や社会生活で最低限 必要なスキルをおさらいする。	10人
第4回	1月12日(木)	・労働にかかる法規・税制などを学び、経済的・制度的な面から 再就職を後押し	木村 麻理 (社会保険労務士)	社会保険労務士による、働くにあたり必要となる 労働関連法・社会保険・税制等に関する講座で、 最新の情報を学ぶ。	16人
第5回	1月26日 (木)	・再就職経験女性と直接対話 ・働く自分のイメージをより具体にする ・将来の目標設定を行う	林 亜紀子 (キャリアコンサルタント)	企業に再就職した女性、法人を設立した女性、個人事業主となった女性など、様々なかたちで再就職した女性によるパネルディスカッションを実施し、より具体的に自身の働き方をイメージしてもらい、将来の目標設定につなげる。	16人